

# 「小松商工会議所景気見通し調査」

## 結果報告書

調査期間 令和 3年 6月

小 松 商 工 会 議 所

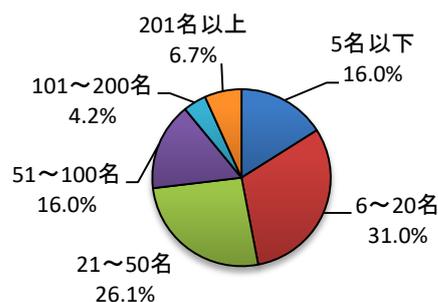
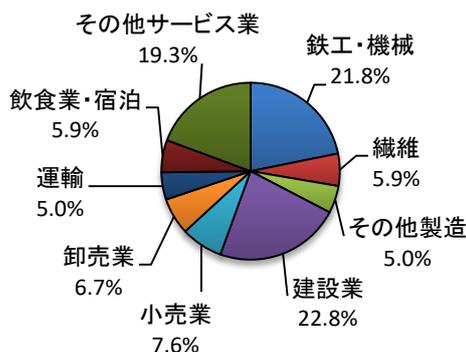
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 218社

回答企業数 119企業（回答率 54.6%）

業種 / 従業員数		5名以下	6～20名	21～50名	51～100名	101～200名	201名以上	合計
製造業	鉄工・機械		2	7	10	2	5	26
	繊維	1	2	3	1			7
	その他製造	1	2	1	1	1		6
建設業		3	15	7	2			27
小売業		3	2		3	1		9
卸売業		1	3	3		1		8
サービス業	運輸			3	2		1	6
	飲食業・宿泊	5		2				7
	その他サービス業	5	11	5			2	23
合計		19	37	31	19	5	8	119



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※D I 値 … D. I(デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数  
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期 … 令和2年度第4四半期(令和3年1月～3月)

今 期 … 令和3年度第1四半期(令和3年4月～6月、但し6月は見込み)

来 期 … 令和3年度第2四半期(令和3年7月～9月)

【各項目別のDI値の意味について】

- (1)景況感 … DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売上高 … DI値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価 … DI値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り … DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) … DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

## (1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好調	10	7	2	4		1	3	4	1	2	1	4	3	4
不変	15	19	2	2	4	4	12	12	2	5	3	2	17	25
悪化	1		3	1	2		12	11	5	2	4	2	16	7
無回答						1			1					
総計	26		7		6		27		9		8		36	

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

## 【今期：好転の理由】

ワクチン接種が終れば、好転してくるだろう（鉄工・機械）
コマツの生産回復による受注増（鉄工・機械）
建設機械の増産基調により操業度の好転が継続（鉄工・機械）
主力の建設機械の部品受注が堅調なため（鉄工・機械）
建機関係・自動車・再生可能エネルギー関係の受注が増加（鉄工・機械）
客先注文状況で選定しました（鉄工・機械）
前期が悪かったため（鉄工・機械）
4-6月は取引先各社とも発注量が増えてきつつある。（繊維）
ワクチン接種が進み、店頭が改善予想（繊維）
閑散期→繁忙期（建設業）
公共事業の増加（建設業）
前期の落込みが大きい（小売業）
コロナワクチンの拡大により経済は回復に向かう（卸売業）
客先注文状況で選定しました。（運輸）
お客様の休業が少なくなり、スポット作業の受注も増加（運輸）
建設機械関連の業況好転、単価改定（運輸）

## 【今期：不変の理由】

高稼働が継続されているため（鉄工・機械）
取引先の生産増加となった為（鉄工・機械）
主要客先の生産によるもの（鉄工・機械）
前期後半の受注を維持している（鉄工・機械）
主力の観光バスの受注が低迷（鉄工・機械）
産業機械向け客先の営業不振(コロナ影響有り)のため低め継続（鉄工・機械）
コロナによる経済状況の変化がないため（鉄工・機械）
コロナの影響（鉄工・機械）
売上が変わらない（鉄工・機械）
生活様式の変化等で内需不振、テキスタイル輸出はSDGS関連で増加可能性あり（繊維）
4月に販売単価の値上げを行った（その他製造）
変わりなく落ち着いた状況が続いている（その他製造）
コロナの影響で賃貸住宅の着工が低いレベルで横ばいが続いている（その他製造）
受注案件が停滞している（建設業）

毎年この時期は端境期です（建設業）
官公庁工事発注状況について特に変わりなし（建設業）
既需要先からの発注の為（建設業）
新幹線工事の完了が近い（建設業）
受注状況にあまり変化がないため（建設業）
コロナの影響は受けなかった（建設業）
前期水準が保たれている（卸売業）
飲食店時短営業によるダメージ（卸売業）
コロナの影響(卸売業)
2回目の緊急事態宣言以降、回復が見られない為（運輸）
ほぼ前期と同様な荷動きがある（運輸）
コマツが稼働していることが理由(運輸)
資材が入って来ない分、現況と変わらない（その他サービス業）
引き続き緊急事態宣言による航空旅客の減少が続いている（その他サービス業）
官公需が中心であり、大きな変動がない（その他サービス業）

【今期：悪化の理由】

例年の傾向をふまえて（鉄工・機械）
大都市の百貨店がクローズしている為（繊維）
コロナ、ウッドショック（建設業）
コロナ（建設業）
昨年から今期第1四半期にかけ民需が低迷していた（建設業）
公共工事が減少しているため（建設業）
受注の減少（建設業）
年度変わりのため手持ち工事の減少と民間での新規工事減少（建設業）
コロナの影響もあり、民間が設備投資を控えているほか、先送りをしていた（建設業）
5月からの緊急事態宣言やまん延防止などで、大きく人流抑制が行われ、県内外の売上が激減している（小売業）
コロナで商品の買い控え（小売業）
仕入れ原価の高騰と需要の変化（小売業）
完全予約制になり必要性が無い限りこない（小売業）
コロナによる自粛のため（卸売業）
売上が引き続き伸び悩みながらも、原料単価の高騰が拍車をかけて、採算が悪化（卸売業）
年度初めで第1四半期は売上が毎年落ちる（運輸）
新型コロナウイルスによる売上減少（飲食業・宿泊）
石川県まん延防止指定による時短営業による為（飲食業・宿泊）
コロナのため時短営業及び客足の減少（飲食業・宿泊）
コロナ緊急事態宣言による（飲食業・宿泊）
新型コロナウイルスの影響で旅行なし(その他サービス業)
コロナの影響を受けているから（その他サービス業）
市場全体の景気後退（その他サービス業）
新幹線絡みがほぼ完了したため（その他サービス業）
コロナの影響大と思う(人数をひかえている為)（その他サービス業）
車の販売の落込み（その他サービス業）

【来期：好転の理由】

少しずつ動き出した（鉄工・機械）
コマツの建機生産計画が高水準であるため（鉄工・機械）
客先注文状況で選定した（鉄工・機械）
取引先の増産計画の影響（鉄工・機械）
建設機械部品の受注が増大している（鉄工・機械）
例年の傾向をふまえて（鉄工・機械）
ワクチン接種が進み、店頭が改善予想（繊維）
サスティナブル関連の需要を期待（繊維）
7-9月はオリンピックも開催されることで景気感も好転することを期待する（繊維）
賃貸住宅向ユニットバスの主要ユーザーが復調の気配あり。一方原材料は値上基調（その他製造）
製造業を中心に設備投資が活発になりつつある（建設業）
受注案件が増加傾向にある（建設業）
閑散期→繁忙期（建設業）
見積り及び受注が増えている（建設業）
製造業が引き続き好調、観光が回復基調になると予想（小売業）
コロナ収束期待と行楽シーズンの再来（小売業）
13日で「まん延」解除となり、ワクチンの普及もあり、景気は良くなる（卸売業）
商品の動きが良くなってきた（卸売業）
自粛がとけるため（卸売業）
第2四半期から第4四半期にかけて好転して来る（運輸）
祈るのみ（飲食業・宿泊）

【来期：不変の理由】

主力の観光バスの受注が低迷（鉄工・機械）
前期以上の売上予想（鉄工・機械）
材料も上がっているの、ちょっと心配である（鉄工・機械）
更に生産増加となる為（鉄工・機械）
コマツ建機の増産傾向の継続（鉄工・機械）
主要客先の生産によるもの（鉄工・機械）
建設機械の需要はしばらく継続するため（鉄工・機械）
コロナの収束時期が見通せないため（鉄工・機械）
主力の建設機械の部品受注が堅調なため（鉄工・機械）
産業機械向け客先の営業不振(コロナ影響有り)のため低め継続（鉄工・機械）
生産計画に大きな変化が見られない（鉄工・機械）
見通しは不透明でわからない（鉄工・機械）
売上の下落と仕入れ単価の上昇。債務超過の恐れあり（繊維）
来期もほとんど変わらない感じである（その他製造）
建設工事の設計依頼が多い事から、来期も大幅な減少はないと考える（建設業）
採算性が低いと思われる為（建設業）
官公庁工事発注状況について大きく変わらない見込み（建設業）
新型コロナウイルスの影響はしばらく続くため 民間設備は消極的（建設業）
現在の景況感持続（建設業）
ワクチン接種も始まり、景気の見通しも好転しそうな状況から、少しずつ受注が入ってきている (建設業)

5月からの経済的打撃・大きな減少はワクチン接種に全国的な目に見える効果が表れるまでは消費回復は困難な状況である。1都3県が要所である（小売業）
必要な時必要な人が来る 新たな需要喚起につなげられていない（小売業）
時短営業解除による売上増への期待（卸売業）
コマツが稼働していることが理由（運輸）
燃料価格の上昇が採算性を悪化させる（運輸）
ワクチン接種が進むもの、第5波やオリンピックによる再拡大などの懸念から、大きな回復は望めないと思う（運輸）
受注状況を見て（運輸）
秋口までは建設機械関連の好調は続くと判断（運輸）
コロナウイルス変異株への不安（飲食業・宿泊）
新型コロナウイルスワクチンの接種の時間がかかる為（飲食業・宿泊）
コロナにより、状況が変わるため予想が難しい（飲食業・宿泊）
コロナワクチンで先見えぬ景況に期待（その他サービス業）
年末までには状況は変わらないと考える（その他サービス業）
今の状況が急激に変わることはないと思われる（その他サービス業）
公共事業関係の受注から（その他サービス業）
コロナの影響による（その他サービス業）
官公需が中心であり、大きな変動がない（その他サービス業）

【来期：悪化の理由】

工事物件が少ない（建設業）
コロナ、ウッドショック（建設業）
ウッドショックの影響、見込み客不足（建設業）
予定需要先の発注遅延（建設業）
公共工事が減少しているため（建設業）
工事引き合いの減少（建設業）
新車購入の話が少ない（小売業）
原料単価のアップにより、採算が合わないであろう（卸売業）
もともと夏場は閑散期となるため、更に悪化すると思われる（飲食業・宿泊）
新型コロナウイルスの影響で旅行なし（その他サービス業）
景気後退（その他サービス業）
市場の投資計画が発生しない（その他サービス業）
新幹線絡みがほぼ完了したため（その他サービス業）
来期も売上が元に戻るとは思えない（その他サービス業）
車の販売の落込み（その他サービス業）

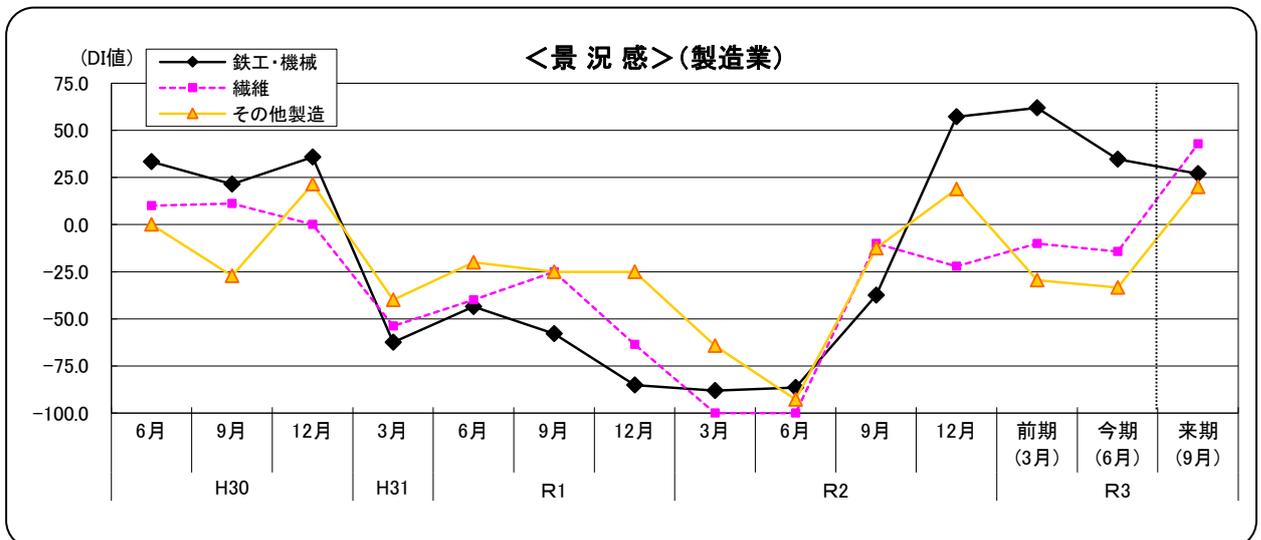
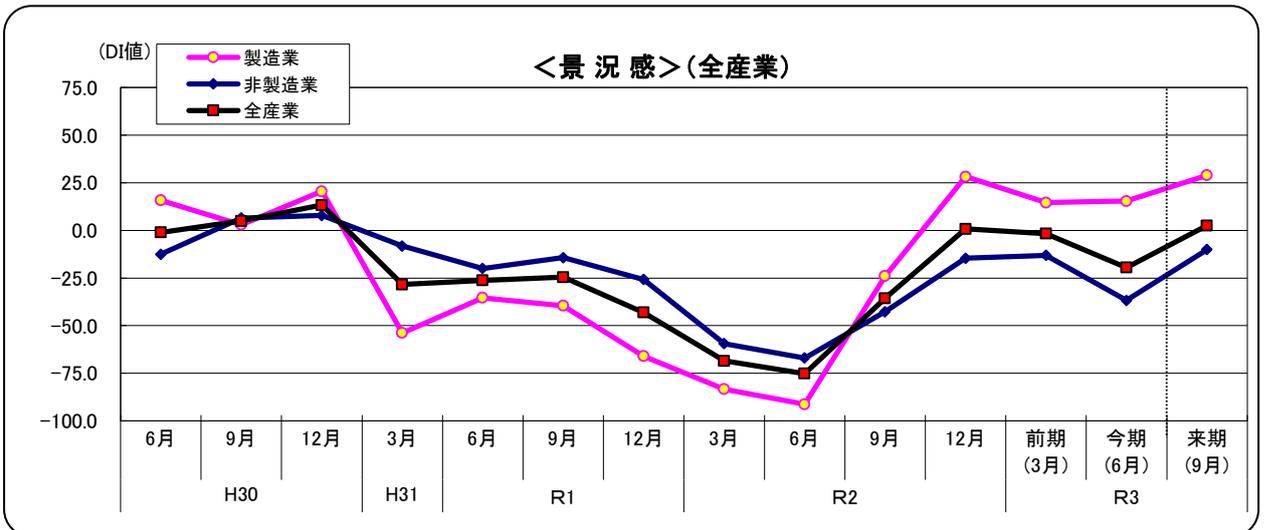
(1)-2 DI値

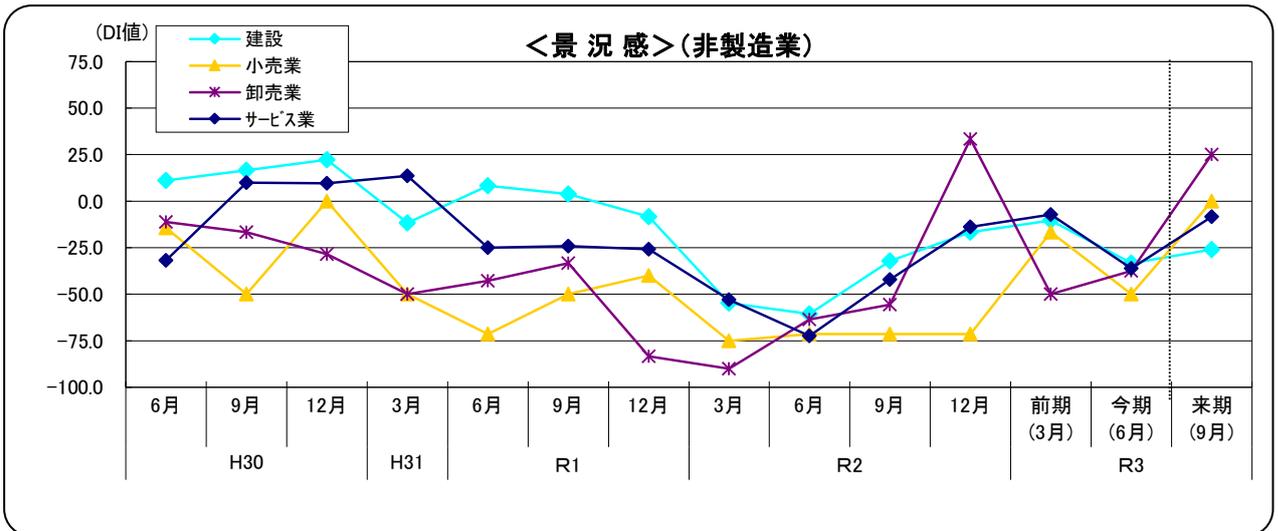
(単位:DI)

		前期	今期	来期
製造業	鉄工・機械	61.9	34.6	26.9
	繊維	▲ 10.0	▲ 14.3	42.9
	その他製造	▲ 29.4	▲ 33.3	20.0
	製造計	14.6	15.4	28.9
非製造業	建設業	▲ 10.3	▲ 33.3	▲ 25.9
	小売業	▲ 16.7	▲ 50.0	0.0
	卸売業	▲ 50.0	▲ 37.5	25.0
	サービス業(運輸含む)	▲ 7.1	▲ 36.1	▲ 8.3
	非製造計	▲ 13.0	▲ 36.7	▲ 10.0
全体		▲ 1.7	▲ 19.5	2.5
改善予測		▲ 18.1	22.0	—

※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

(1)-3 年次別の推移





製造業については、鉄工・機械において 前期 61.9 ポイント、今期 34.6 ポイントと下降してはいるものの建機業界の牽引により、高い値が続いている。繊維において 前期 ▲10.0 ポイント、今期 ▲14.3 ポイント、その他製造において 前期 ▲29.4 ポイント、今期 ▲33.3 ポイントと更に低下し、景況の二極化が続いている。

非製造業については、建設業において 前期 ▲10.3 ポイント、今期 ▲33.3 ポイント、小売業において 前期 ▲16.7 ポイント、今期 ▲50.0 ポイント、卸売業において 前期 ▲50.0 ポイント、今期 ▲37.5 ポイント、サービス業において 前期 ▲7.1 ポイント、今期 ▲36.1 ポイントと低下した。

まん延防止等重点措置や緊急事態宣言、原材料不足やウッドショックによる価格の高騰などの影響もあり、全体的に低い値となったが、来期は、コロナも落ち着き、原材料の値上げ・調達難等不安材料は続くが、全体的に上昇が見込まれる。

(単位:DI)

区分	今期(R3.6)			来期(R3.9)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	15.4	▲ 2	2	↘ 28.9	↘ 2	↘ 0	39社
非製造業	▲ 36.7	▲ 12	▲ 7	↗ ▲ 10.0	↘ ▲ 14	↘ ▲ 9	80社
全体	▲ 19.5	▲ 7	▲ 3	↗ 2.5	→ ▲ 7	↘ ▲ 5	119社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(1) - (5) 景況感、売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(令和3年度第1四半期)の状況

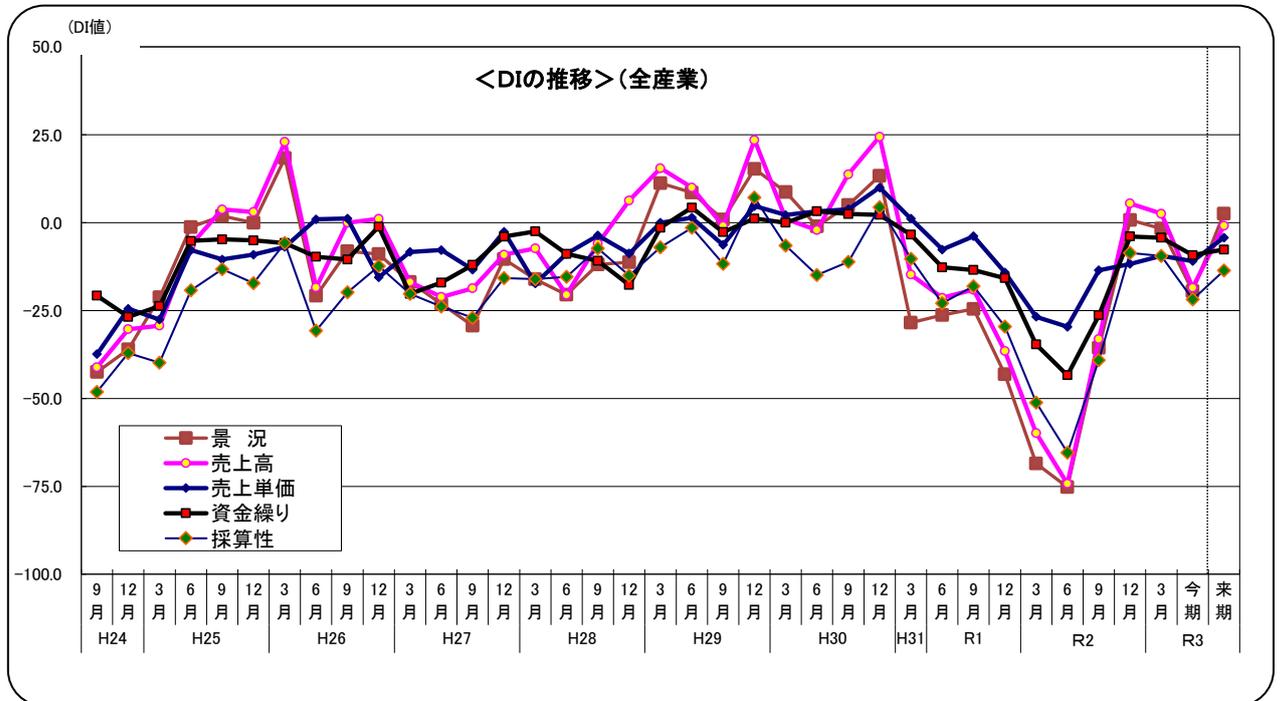
(単位:DI)

	景況感	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	34.6	30.8	11.5	15.4	19.2
繊維	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 71.4	▲ 28.6
その他製造	▲ 33.3	▲ 16.7	16.7	▲ 16.7	▲ 33.3
建設業	▲ 33.3	▲ 29.6	▲ 14.8	3.7	▲ 29.6
小売業	▲ 50.0	▲ 55.6	▲ 55.6	▲ 44.4	▲ 55.6
卸売業	▲ 37.5	▲ 62.5	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0
サービス業	▲ 36.1	▲ 27.8	▲ 13.9	▲ 16.7	▲ 27.8
全体	▲ 19.5	▲ 18.5	▲ 10.9	▲ 9.2	▲ 21.8

来期(令和3年度第2四半期)の見通

(単位:DI)

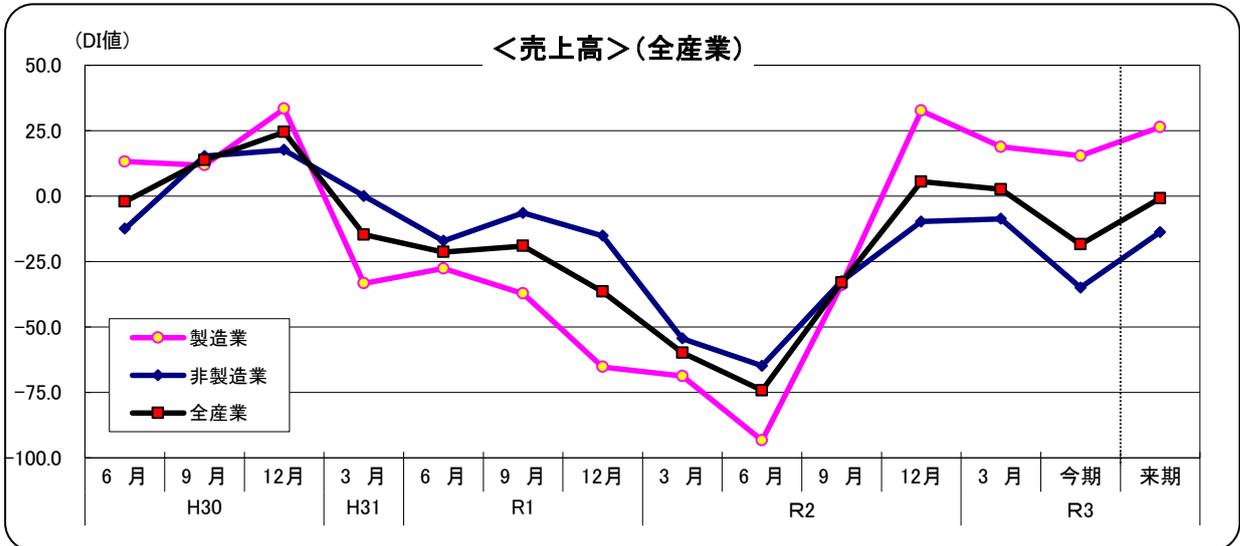
業種	景況感	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	26.9	26.9	11.5	3.8	7.7
繊維	42.9	42.9	14.3	▲ 14.3	0.0
その他製造	20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 40.0
建設業	▲ 25.9	▲ 33.3	▲ 14.8	▲ 11.1	▲ 33.3
小売業	0.0	▲ 22.2	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 44.4
卸売業	25.0	37.5	0.0	0.0	12.5
サービス業	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 5.6	▲ 5.6	▲ 11.1
全体	2.5	▲ 0.8	▲ 4.2	▲ 7.6	▲ 13.6
改善予測(今回)	22.0	17.7	6.7	1.6	8.2
改善予測(R3.3)	▲ 18.1	▲ 21.4	▲ 4.4	▲ 7.8	▲ 15.5
改善予測(R2.12)	▲ 23.8	▲ 26.9	▲ 1.8	▲ 9.6	▲ 21.0



(2) 売上高

(単位: DI)

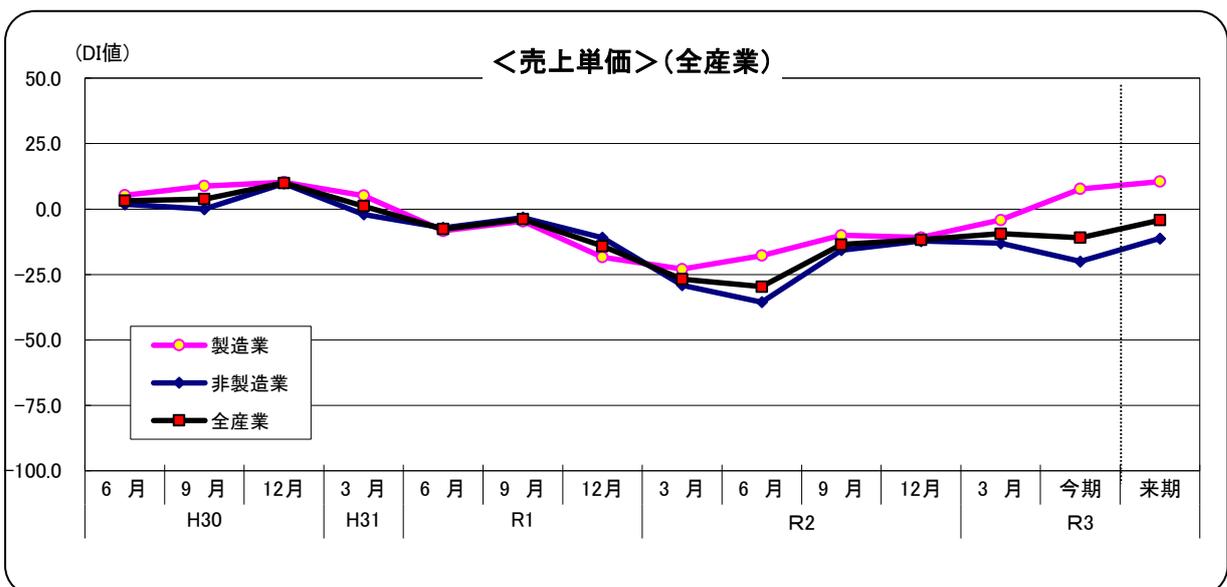
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	26.9	42.9	0.0	26.3	▲ 33.3	▲ 22.2	37.5	▲ 8.3	▲ 13.8	▲ 0.8
今期	30.8	▲ 14.3	▲ 16.7	15.4	▲ 29.6	▲ 55.6	▲ 62.5	▲ 27.8	▲ 35.0	▲ 18.5
前期	71.4	▲ 10.0	▲ 29.4	18.8	▲ 6.9	▲ 33.3	▲ 50.0	3.6	▲ 8.7	2.6



(3) 売上単価

(単位: DI)

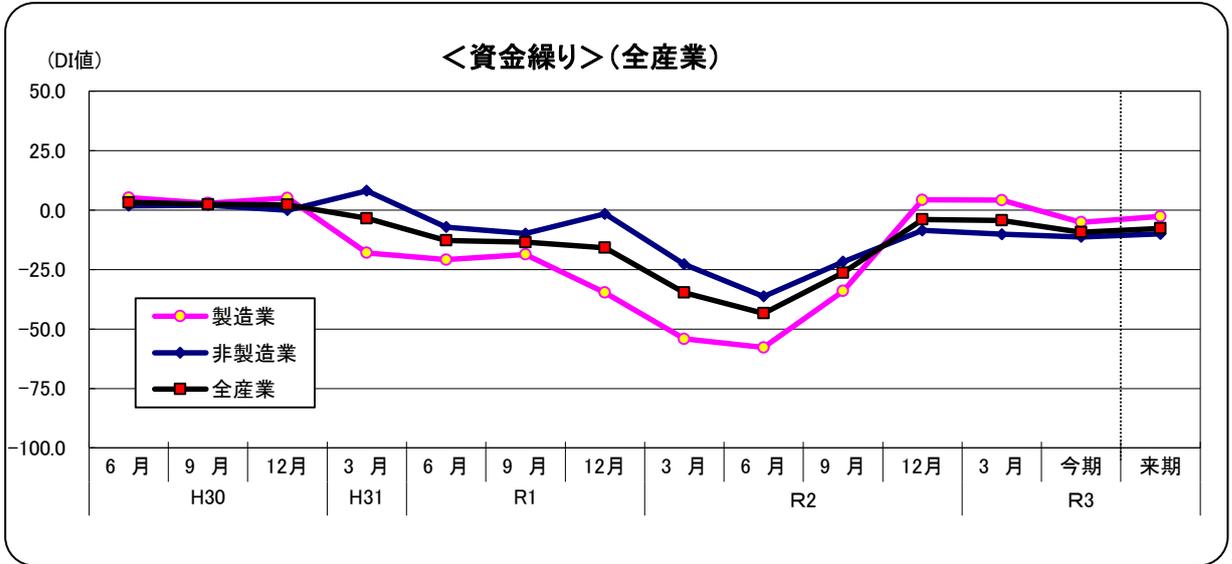
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	11.5	14.3	0.0	10.5	▲ 14.8	▲ 33.3	0.0	▲ 5.6	▲ 11.3	▲ 4.2
今期	11.5	▲ 14.3	16.7	7.7	▲ 14.8	▲ 55.6	▲ 25.0	▲ 13.9	▲ 20.0	▲ 10.9
前期	0.0	10.0	▲ 17.6	▲ 4.2	▲ 13.8	0.0	▲ 33.3	▲ 10.7	▲ 13.0	▲ 9.4



(4) 資金繰り

(単位: DI)

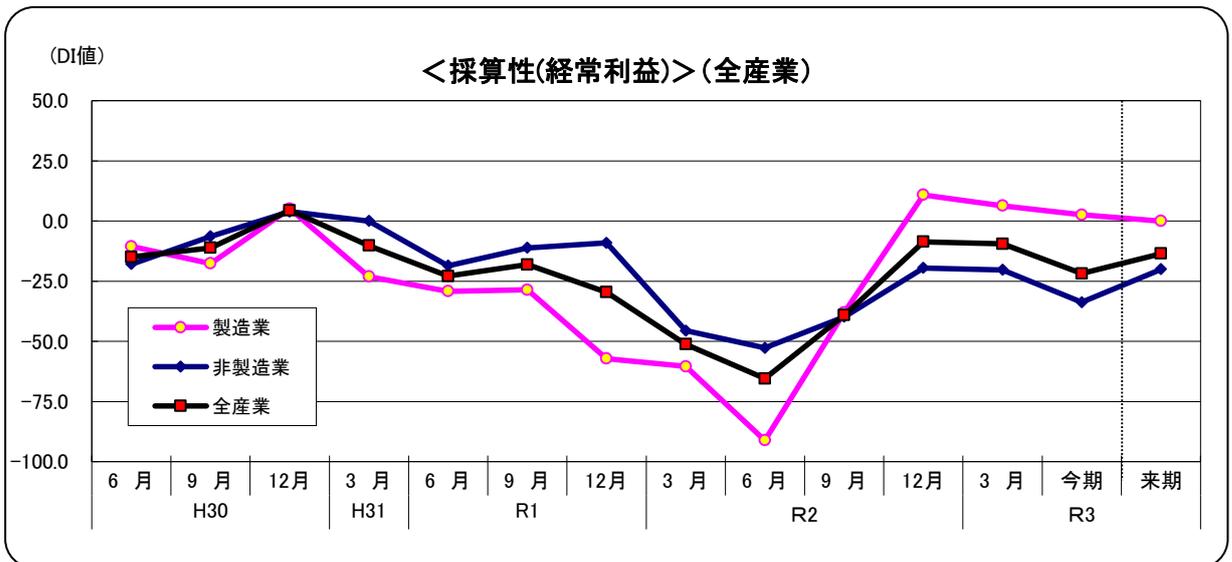
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	3.8	▲ 14.3	▲ 20.0	▲ 2.6	▲ 11.1	▲ 33.3	0.0	▲ 5.6	▲ 10.0	▲ 7.6
今期	15.4	▲ 71.4	▲ 16.7	▲ 5.1	3.7	▲ 44.4	0.0	▲ 16.7	▲ 11.3	▲ 9.2
前期	28.6	▲ 30.0	▲ 5.9	4.2	▲ 3.4	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 10.1	▲ 4.3



(5) 採算性(経常利益)

(単位: DI)

	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	7.7	0.0	▲ 40.0	0.0	▲ 33.3	▲ 44.4	12.5	▲ 11.1	▲ 20.0	▲ 13.6
今期	19.2	▲ 28.6	▲ 33.3	2.6	▲ 29.6	▲ 55.6	▲ 50.0	▲ 27.8	▲ 33.8	▲ 21.8
前期	50.0	▲ 30.0	▲ 23.5	6.4	▲ 10.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 17.9	▲ 20.3	▲ 9.5



今期(第1四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

(n=118)

新型コロナウイルスによる売上減少	48社	40.7%	40.7%
原材料の高騰	40社	33.9%	33.9%
従業員の確保難	40社	33.9%	33.9%
需要の停滞、売上の減少	39社	33.1%	33.1%
仕入単価の上昇	32社	27.1%	27.1%
経費の増加	28社	23.7%	23.7%
販売単価の低下・上昇難	14社	11.9%	11.9%
エネルギーコストの増加	14社	11.9%	11.9%
競争の激化	13社	11.0%	11.0%
後継者の育成・確保	7社	5.9%	5.9%
その他	10社	8.5%	8.5%

Q「経営上の問題点」の項目における「10. その他」の意見

コロナによる海外営業不振(客先)(鉄工・機械)
働き方改革による残業問題。副資材の品薄(鉄工・機械)
技術者不足・高齢化(建設業)
化石燃料の衰退、カーボンニュートラルなど(小売業)
社会構造の変化(その他サービス業)
コロナの影響により営業が制限されている(その他サービス業)
特になし(小売業・その他サービス業)

	鉄工・機械 (n=26)	繊維 (n=7)	その他製造 (n=5)	建設業 (n=27)	小売業 (n=9)	卸売業 (n=8)	サービス業 (n=36)
新型コロナウイルスによる売上減少	19.2%	28.6%	40.0%	40.7%	44.4%	87.5%	47.2%
原材料の高騰	53.8%	28.6%	40.0%	40.7%	55.6%	25.0%	11.1%
従業員の確保難	50.0%	28.6%	20.0%	33.3%	22.2%	25.0%	30.6%
需要の停滞、売上の減少	11.5%	57.1%	40.0%	37.0%	44.4%	62.5%	30.6%
仕入単価の上昇	34.6%	14.3%	0.0%	33.3%	55.6%	25.0%	16.7%
経費の増加	26.9%	42.9%	0.0%	37.0%	44.4%	12.5%	8.3%
販売単価の低下・上昇難	11.5%	28.6%	0.0%	14.8%	11.1%	12.5%	8.3%
エネルギーコストの増加	3.8%	42.9%	40.0%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%
競争の激化	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	33.3%	37.5%	11.1%
後継者の育成・確保	3.8%	0.0%	0.0%	7.4%	0.0%	0.0%	11.1%
その他	7.7%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	13.9%

Q具体的な問題点や対応策

従業員を増やしたいが、なかなか難しい(鉄工・機械)
絶対的な働き手不足(技能実習生も入国できない状況)(鉄工・機械)
技能実習生の受け入れが滞っており、人員配置の計画ができていない(鉄工・機械)

人材確保難がしばらく継続する見込み、広告媒体を活用中（鉄工・機械）
仕入単価が上昇しているが、販売単価に反映できない（鉄工・機械）
原材料高騰に対する売価アップ（鉄工・機械）
鋼材の入手難が受注の影響をし始めた。さすがに対応策はない（鉄工・機械）
原材料の確保（鉄工・機械）
経費削減（鉄工・機械）
受注増に伴う設備投資を計画中（鉄工・機械）
売上と変動比率のカーブが変化してきているので、営業利益に影響を与えている（鉄工・機械）
段取りの見直し。生産管理システムの導入検討。購入先の見直し（鉄工・機械）
需要の減少のための新規商品の開発及び新規販売先の開拓（繊維）
各種補助金や助成金頼みでここは耐えるしかない（繊維）
将来を見据えて2-3年前から人員増強しているが、コロナ環境でそれをカバーする売上に達しておらず、利益が上がらない（繊維）
職人の高齢化が課題で若い人の手当をしているところである（その他製造）
ユニットバスを構成するFRPの原材料、鋼材、アルミドアの値上要請あり。売値転嫁は難しい状況 （その他製造）
技術者も不足しているため、発注1件1件の採算性の影響は大きく採算性の向上が必須（建設業）
既存社員で解決（建設業）
人員が確保できたものの戦力化しきれていない（建設業）
採用活動の強化、人材育成の強化を図っている（建設業）
この時期は慌てず焦らず人材育成優先（建設業）
協力業者間で労務確保（建設業）
ウッドショック（建設業）
ウッドショックにより先行きが見えない（建設業）
鉄・木材関係の価格上昇（建設業）
休みが多く経費が嵩む。高齢化で作業効率が悪くなっている（建設業）
他社に負けない経営戦略の構築が必要である（建設業）
エネルギー費用の大きな上昇と共に、エネルギー関連包材や原材料が高騰しているが、販売価格への反映が困難な状況である（小売業）
対策として、安心・安全な店舗運営（小売業）
価格への転嫁（小売業）
中古車価格の高騰が見られる（小売業）
新たな需要喚起がし難い状況になっている（小売業）
昨年秋からの鉄鋼メーカー5回程値上げを実施。流通では2~3回の値上げ実施に留まっており、採算が厳しい（卸売業）
従業員の確保については県外からの雇用を検討（運輸）
従業員不足（運輸）
社員の高齢化が進む（運輸）
肉、野菜類の高騰（飲食業・宿泊）
コロナの状況で左右される（飲食業・宿泊）
パートの方が飲食業を避ける(退職)（飲食業・宿泊）
現在、輸入関連で、材料が5~10倍に上がっている（その他サービス業）
設備投資計画が市場にない（その他サービス業）
社会構造の変化に合わせて取り組む（その他サービス業）

## ■ その他、意見・要望

石川県の補助金や助成金制度を継続して貰いたい（繊維）
アンケートをこのようにWEBで行うことは良いと思う（繊維）
「インボイス制度」について、まだよくわからない（その他製造）
インボイス制度の講習会があれば、開催をお願いします（飲食業・宿泊）
当社はあまりにも商品の数が多く、手作業の部分がありすぎる。簡単に出来るのであれば良い (その他サービス業)
税務署側の電子申請受付処理をよく考えてほしい（その他サービス業）

## 会議所コメント：

### ①②③④⑤⑥

本所では、金融あっせんや創業支援、また事業所の課題解決のニーズに合わせた個別相談を実施しています。また、会報やHP・SNSを活用して補助金・助成金等の情報提供を行っています。その他、調査研究、経営に関する最新情報のご提供やセミナー・検定試験などによるスキルアップ、青年部活動や女性会活動などヒューマンネットワークづくりをお手伝いします。

また、行政の関連部署や石川県産業創出支援機構（ISICO）等と連携を図り、会員事業所の要望にお応えすべく対応して参ります。

### ①⑥

本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言活動を継続的に実施して参ります。

## 【メールマガジン配信中！】

会員事業所の皆様に、当所の講習会や補助金・助成金情報のほか、融資制度や各種イベント情報などをタイムリーにお届けするメールマガジンを始めました。ご購入は無料ですので、ぜひご登録ください。

※こちらのQRコードからご登録ください。



## 議員・評議員各位

### 「小松商工会議所景気見通し調査」

### 「新型コロナウイルスによる影響調査」実施のお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大により経営に影響を受けている皆さま方におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

本所では、議員・評議員を対象に、四半期毎に行っている景気見通し調査並びに新型コロナウイルスによる企業活動への影響調査を実施いたします。

ご多忙の折誠に恐縮とは存じますが、下記調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※前回までの調査結果は本所HPに掲載しています。

貴社名 \_\_\_\_\_

(個別企業名・個人名が公表されることはありません)

貴社の業種は 1. 鉄工・機械 2. 繊維 3. その他製造 4. 建設業 5. 運輸  
6. 小売業 7. 卸売業 8. 飲食業・宿泊 9. その他サービス業

従業員数は 1. 5名以下 2. 6～20名 3. 21～50名 4. 51～100名  
5. 101名～200名 6. 201名以上

※本調査における「前期」、「今期」、「来期」は以下の期間を指しますので、ご注意ください。

### 景況・業況の動向

○前期＝令和2年度第4四半期(令和3年1月～3月)

○今期＝令和3年度第1四半期(令和3年4月～6月、但し6月は見込み)

○来期＝令和3年度第2四半期(令和3年7月～9月)

	I. 今期(第1四半期)の状況	II. 来期(第2四半期)の見通し
	前期(第4四半期)と比べた 今期(第1四半期)の状況	今期(第1四半期)と比べた 来期(第2四半期)の見通し
1. 景況感	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
2. 売上高	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
3. 売上単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
4. 資金繰り	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
5. 採算性(経常利益)	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化

景況感(今期)の選定理由をご記入下さい。

景況感(来期)の選定理由をご記入下さい。

### 今期(第1四半期) 直面している経営上の問題点(複数回答可)

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 0. 新型コロナウイルスによる売上減少 | 1. 大企業の進出や過当競争による競争の激化 |
| 2. 仕入単価の上昇          | 3. 経費の増加               |
| 4. 販売単価の低下・上昇難      | 5. エネルギーコストの増加         |
| 6. 原材料の高騰           | 7. 需要の停滞、売上の減少         |
| 8. 従業員の確保難          | 9. 後継者の育成・確保           |
| 10. その他( )          |                        |

問題点や対応策を具体的にご記入下さい。

## 新型コロナウイルスによる売上減少について

【設問1】令和2年同月と比べた令和3年5月の貴社の売上高についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上)      2. 減少(20%未満)      3. 横ばい      4. 増加

【設問2】令和2年同月と比べた令和3年4月～6月の貴社の売上高(見込み)についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上)      2. 減少(20%未満)      3. 横ばい      4. 増加

【設問3】(設問2で「選択肢4」を選択した方にお伺いします)売上の増加幅についてお聞かせください。

1. +10%未満      2. +20%程度      3. +30%程度      4. +40%程度      5. +50%以上

【設問4】コロナ禍前の令和元年同月と比べた令和3年5月の貴社の売上高についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上)      2. 減少(20%未満)      3. 横ばい      4. 増加

【設問5】コロナ禍前の令和元年同月と比べた令和3年4月～6月の貴社の売上高(見込み)についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上)      2. 減少(20%未満)      3. 横ばい      4. 増加

【設問6】(設問5で「選択肢4」を選択した方にお伺いします)売上の増加幅についてお聞かせください。

1. +10%未満      2. +20%程度      3. +30%程度      4. +40%程度      5. +50%以上

## インボイス制度導入への準備状況等について

【設問7】インボイス制度導入に向けた貴社の準備状況についてお聞かせください。

1. 請求書等発行システムや経理・受発注システムの入替・改修等を行っている  
 2. 具体的には取り掛かっていない      3. どのような準備が必要か分からない  
 4. 特に何もしていない      5. その他( )

【設問8】インボイス制度導入に向けた課題についてお聞かせください。(複数回答可)

1. 発行する請求書などの様式の変更が必要となる  
 2. システムの入替・改修コストがかかる  
 3. 受け取った請求書等がインボイスの要件を満たすか確認が必要となる(登録番号、税率毎の消費税額、消費税率等)  
 4. 仕入先が免税事業者かどうか確認が必要となる  
 5. 受け取った納品書・請求書と帳簿との突合が必要となる  
 6. 自社が発行する請求書等の写しの保存が必要となる(3万円未満含む)  
 7. 受け取った3万円未満の請求書等も保存が必要となる  
 8. 端数処理のルールが変わってしまう  
 9. 何をしたらよいのか分からない  
 10. 制度が複雑でよく分からない  
 11. その他( )

**【設問9】(課税事業者の方にお伺いします)「インボイス制度」導入後、免税事業者からの仕入については、原則、仕入税額控除ができなくなります。免税事業者に対する貴社の対応や意向についてお聞かせください。**

1. 免税事業者との取引は一切行わない予定
2. 一部の免税事業者を除いて取引は行わない予定
3. 経過措置がある間(6年間)は免税事業者との取引を行う予定
4. 免税事業者であるということ取引を行うか否かの判断はしない予定
5. まだ分からない
6. その他( )

**【設問10】(課税事業者の方にお伺いします)「インボイス制度」導入後6年間は、免税事業者からの仕入についても一定割合(最初の3年間は80%、次の3年間は50%)を仕入税額控除できる経過措置が設けられています。貴社取引先における課税・免税の把握状況についてお聞かせください。**

1. 取引先が課税事業者・免税事業者どちらかを把握している
2. 取引先が課税事業者・免税事業者どちらかを把握していないが、インボイス制度導入までに把握したい
3. 取引先が課税事業者・免税事業者どちらかを把握しておらず、今後の対応については検討中
4. 取引先が課税事業者・免税事業者どちらかを把握していないが、今後も把握する必要はない
5. その他( )

**【設問11】(課税事業者の方にお伺いします)販売時の消費税の端数処理方法についてお聞かせください。**

1. 商品・アイテムごとに切捨て
2. 請求書(レシート)ごとに切捨て
3. 商品・アイテムごとに四捨五入
4. 請求書(レシート)ごとに四捨五入
5. 商品・アイテムごとに切上げ
6. 請求書(レシート)ごとに切上げ
7. その他( )

その他、ご意見やご要望がありましたら、具体的にご記入下さい。

■下記アドレス・QRコードからも回答可能です。 ※下記からご回答の際は、次回調査よりメールでのご案内となります

【令和3年度第1四半期景気見通し調査】⇒ <https://forms.gle/cUKZKQ79443ic1eFA>



**回答締切:6月21日(月)必着 (FAX:21-3120 までご返信ください)**